

鹿ノ台川柳教室

二月十六日(火)

嘘(連記) 八木 哲子選

相手見て使い分けする二枚舌

義雄

もう時効若き日の嘘消えやらぬ

俊平

嘘つかず無口であった人であり

ミノル

先ずは嘘ありてこの世は始まりぬ

むつ子

ついた嘘忘れぬようにメモをする

英二

ジェラシーかちよつと小さな嘘をつく

乃り子

時々は自分をだます生き上手

広子

病む妻の笑顔の嘘を聞く辛さ

宏樹

嘘の持つとろける蜜と気味悪さ

百合子

ついた嘘忘れてしまい赤っ恥

アキラ

ボロを出すセンサーお次どなたかな

千楽

美しい嘘に仕上げたメイキャップ

良一

小細工で隠し通せるはずがない

ばんゆう

うそつきはうその連鎖で幕を閉じ

登美

巧い嘘空しさだけを置いていく よう子
エンマ様未熟なウソの舌残す ちさと
透この嘘に賞味期限を貼っておく 勝利
軸彼氏へのかわいい嘘があとを引く 哲子

自由吟（共選） 林 勝利選

侘助と目が合いただす身だしなみ 広子
配分に心を砕く持ち時間 広子
鬼はらいやつと立春はずむ胸 哲子
酒は毒妻は怒るが神頼み 宏樹
夢拾い三寒四温春の路 百合子
薔薇でいい薔薇がいいのよ記念日は 乃り子
かくすればかくなるものと拉致家族 英二
咲く力蓄に秘めて東風を待つ 百合子
欠点も持ち味みなに愛される 良一
マイルーチン気付かぬうちに古希は過ぎ ばんゆう
悪夢などどこかへ行った七十年 千楽
罪と罰胸に刻んで生きてます アキラ

恣永らえて永らえ難き老いを知る
宏樹
軸屈辱の谷間世代が甦る
勝利

自由吟 共選

笹倉良一選

介護に疲れペットの世話で癒される
義雄

栄光から奈落へ堕ちた人の果て
乃り子

じっと待つ病の友の年賀状
英二

かくすればかくなるものと拉致家族
英二

琴バウアー天空仰ぐ快男児
むつ子

鬼はらいやつと立春はずむ胸
哲子

罪と罰胸に刻んで生きてます
アキラ

マイルーチン気付かぬうちに古希は過ぎ
ばんゆう

咲く力蓄に秘めて東風を待つ
百合子

読めるけど書けない文字が増えてきた
よう子

迫真の競技蝕むドーピング
勝利

議員さま育休次は変化球
哲子

番長に逆転アーチあるのかな
千楽

よくもまあ不倫汚職が則を説く
俊平

侘助と目が合いただす身だしなみ 広子
綉薔薇でいい薔薇がいいのよ記念日は 乃り子
軸欠点も持ち味みなに愛される 良一

嬉しい(互選)

②長生きを喜ぶべきか苦となるか 俊平

うれしさも中位なり還付税 むつ子

訊かれるとそれほどもと首を振る 英二

じゃこ買って蛸や蟹まで入ってる 百合子

有明にあなたに会えて香も残る 百合子

合格に学資保険が滑り込み ミノル

嬉しいと喉がゴロゴロ鳴るのです ばんゆう

忘れてたへそくりのぞくビンの下 登美

③それとなく確認してる友の皺 乃り子

④風呂場からもれ聞こえてる上機嫌 広子

うれしいと花活けかえる人であり ミノル

自分のこと自分で出来る日々感謝 よう子

朝な夕なお日さんに手を合わせます 千楽

- ⑤ いびつでも愛情こもる握り飯
ちさと
- 永らえてうれしい恋にめぐり逢い
宏 樹
- ゆで卵するりとむけていい朝だ
英 二
- ⑥ 言いそびれうれしかったと書く日記
義 雄
- ⑦ 足るを知りほどほどに生き酒一合
アキラ
- ⑧ 普段着で話せる友に恵まれる
よう子
- ⑨ 一冊の本に私の今がある
良 一
- ⑩ 口重い息子から来る古希祝い
千 楽

前回の新顔・英二さんに次いで笹百合子さん(喜里が丘)が加わり、一同拍手で歓迎した。「笹」の名は笹倉良一さんに由来する、という。

次回は三月十五日午後一時から西集会所。お題は「地域」と「信じる」、それに自由吟。各2句。「地域」は連記用で短冊に2句とも書く。自由吟(選者2人による共選)は2部を提出。

原
広
子

7
9
・
0
0
6
1